

授業科目 社会福祉学研究特論 I (理論・歴史研究)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	高阪 悌雄		
担当者	高阪 悌雄		
1. 科目のねらい・目標 本講義の目的は社会福祉学分野における当事者運動と分配の関係性について基本的な考え方を身につけることである。社会福祉学理論の主要な関心は限りある資源をどのように多くの人に平等に分配していくかの方法論に行きつく。本講義では、当事者運動によって勝ち取られてきた障害基礎年金の成立プロセスを科目担当者の著書をベースに輪読していく。最終的には当事者運動をベースにして社会福祉学理論・歴史研究に関心のある受講生が当事者運動と分配理論についての基本的フレームワークを身につけていくことを目的とする。			
2. 授業計画・内容 第1回 社会福祉学研究をめぐる今日の動向 第2回 社会福祉学における研究方法論 第3回 社会福祉学分野における先行研究の分析 (理論研究) 第4回 社会福祉学分野における先行研究の分析 (歴史研究) 第5回 社会福祉学分野の所得保障の歴史 第6回 社会福祉学分野の所得保障の歴史 第7回 社会福祉学分野の所得保障の歴史 第8回 社会福祉学分野での当事者運動の歴史 第9回 社会福祉学分野での当事者運動の歴史 第10回 社会福祉学分野での当事者運動の歴史 第11回 社会福祉学分野の理論研究 第12回 社会福祉学分野の理論研究 第13回 社会福祉学分野の理論研究 第14回 社会福祉学分野における歴史研究の位置づけ 第15回 社会福祉学分野における歴史研究をめぐる対立点			
3. 教科書、参考書			
高阪悌雄 (2020) 「障害基礎年金と当事者運動—新たな障害者所得保障の確立と当事者運動」 明石書店.			
4. 成績評価方法 講義での報告と討議 50% 最終レポート 50%			
5. 受講要件 テキストを購入してください。			
6. 社会人学生に対する配慮 受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。			
7. その他 特になし。			